

<平成28年度 JERT 主催救急撮影講習会（名古屋）参加報告>

中京病院 放射線部 片桐江美子

平成28年8月20日に 名古屋第二赤十字病院にて開催された 平成28年度救急撮影講習会(名古屋)に参加してまいりました。

今回の講習はストロークがメインの講習でした。正直、私自身“外傷”とつく興味を持ちやすいのですが、ストロークメインの講習は受けたことあるかな…程度でした。当日は、りんくう総合医療センターの坂下先生をはじめ、素晴らしい先生方の講演を聞くことができ 本当に勉強になりました。その中でも1番印象に残っているのはCTSS（CT撮影時脳卒中スケール）の講演で、これは実際私たちが救急の患者様のCTを撮影する際に大変、簡便かつ有用に評価できる方法だと思いました。

チーム医療と言えども、バタついた救急の現場では情報共有できる場面がなかなか得られにくい場合もあります。そんな場合でも 私たちが検査を行う過程において患者様の様子を観察しつつ、状態把握・評価できるのは本当に実用的だと思いました。また、放射線科の先生による画像読影のポイントも大変わかりやすく、明日からもっとここをこういう風に観察してみよう、こんな病変も見落としてはいけない…と勉強になる症例ばかりで、今更ながらですが、ストロークの講習会の楽しさを知りました。と同時に、技師読影を放射線科の先生がバックしてくれるレポートシステムを 自施設でも実践できないものかと思いました。そういう医師とのやり取りがあれば、必然的に読影力もついてくると思います。

救急撮影認定技師資格取得の際には他施設での実地研修が必要ですが、私が行った研修先の病院と、自施設を比しても決して同じような環境で仕事が出来ているわけではありません。それでも一診療放射線技師として適切な画像提供はもちろんの事、異常所見を迅速に発見できる目を養うこと、また、最低限自分が携わった救急症例の振り返り…等 改めて重要なことを再認識できた充実した講習会でした。

